

素材の見極め及び適切なプライマー

①接着面をシンナーで拭くと溶ける（トルエン濃度が高いシンナーに限る）
（トルエン濃度が高いシンナー：プライマーT・CESシンナー・エバーシンナー等）

NO

YES

◆溶けない・・・②の検査へ

* ウレタンの種類によっては表面のシリコンが落ち艶が少なくなるが溶けてはいないので注意。
* 塩ビは少しぬるっとする感覚はあるが溶けないので注意。

◆表面が溶ける

* 表面が溶け、素材の色がウエスに移る。

②バフ掛け（ペーパー掛け）をすると溶ける（飛散しない）

NO（削り粉が飛散する）

YES（飛散しない）

◆溶けない（削り粉が飛散する）

合成ゴム・スポンジ・EVAの可能性が高い

◆溶ける（削り粉があまり飛散しない）

ウレタン・塩ビの可能性が高い

* ウレタンの種類によっては溶けずに削り粉が飛散するものがあるので注意。

③削り粉が固まりになり易く
素材透明度が高い

NO

YES

オイルレザー

CESプライマー
N300

プライマー
P-51

レザー

プライマー
処理不要

* 吸込みが激しい
為、ボンドの
2度塗りを推奨

ゴム・スポンジ・EVA

CESプライマー
N100

プライマー
P-740

ウレタン

CESプライマー
N300

プライマー
U-38

塩ビ

プライマー
パール

TR

CESプライマー
N200

プライマー
TR-9

中央樹脂製品
推奨プライマー

ノーテプ製品
推奨プライマー

◆グラフト系
◆（ネオプレン系）

◆グラフト系
◆ネオプレン系

◆グラフト系
◆ネオプレン系

◆グラフト系
◆（ネオプレン系）

◆グラフト系
◆（ネオプレン系）

推奨される
ボンドの種類

※（ネオプレン）＝ネオプレン系ボンドでは接着不能なものもあることを示します。
グラフト系ボンドのご使用を推奨します。

※レザー、ラバー、スポンジ・EVAの場合は特殊な場合を除くと、プライマーを使用しなくても十分に接着できます。

ボンド

ネオプレン系
（黄色系）

修理業界で古くから普及している黄色のボンドです。ネオプレンゴムを主原料としています。
多数のメーカーの商品が流通しています。特徴としては速乾性に優れている傾向にあります。

⇒

8800ボンド

8600ボンド

エバーグリップ

ネオテックス

N3000ボンド

グラフト系
（透明系）

ネオプレンゴムだけではカバーできない接着素材に対して接着可能にする為にアクリル素材を組み合わせたものです。
ネオプレンボンドよりも色が薄く（白い）、ネオプレン系よりも接着力が優れている傾向にあります。

⇒

9820Sボンド

レニアコールデロンボンド

N7000+ボンド